



OWNER'S MANUAL

MANUEL DU PROPRIÉTAIRE | MANUAL DEL PROPIETARIO
MANUALE DELL'UTENTE | BENUTZERHANDBUCH
BRUKSANVISNING | РУКОВОДСТВО ПО ЭКСПЛУАТАЦИИ
GEBRUIKERSHANDLEIDING | INSTRUKCJA OBSŁUGI
用户手册 | 取扱説明書

Monitor XT12™

Expect Great Sound™

Polk® Monitor XT12™サブウーハーをお選びいただきありがとうございます。Polk Monitor XT™シリーズは、大胆でスタイリッシュ、そして卓越した品質と性能を誇ります。ピュアでシンプルな Polk Monitor XTスピーカーは、「素晴らしいサウンドへの期待」をまさに具現化しています。

45年以上にわたって「スピーカースペシャリスト®」としての評判を築き上げてきた当社は、最高のサウンドと品質を実現するオーディオイノベーションを特徴とし、多くの特許と受賞歴を有しています。Polkの従業員にとって、オーディオ製品を作ることは単なる仕事ではありません。最高のサウンドを皆様にお届けしたいという情熱が、私たちを突き動かしているのです。私たちは、すべての人に手頃な価格で素晴らしいサウンドを提供するという理念に従って常に行動しています。

テクニカルサポートとサービス

輸送中に本製品が破損していた場合は、ご購入いただいたPolk Audioの正規販売店にご連絡ください。テクニカルサポート、よくあるご質問、修理については、<https://jp.polkaudio.com/contact-us> をご覧ください。サポートのメールアドレスと電話番号は、本製品をご購入いただいた地域によって異なります。

警告！音量にご注意ください

Polk Audioのスピーカーは非常に高い音量での再生が可能のため、深刻な後遺症となる聴覚の障害を引き起こす恐れがあります。Polk Audioは製品の誤用を原因とする聴覚障害、身体の損傷または物損に関して責任を負いかねます。本ガイドラインにご留意いただき、適正なボリューム操作をお願いいたします。

- ・ 85デシベル (dB) を超える音量での長時間のリスニングはお控えください。安全な音量について、詳しくは米国労働安全衛生局 (OSHA) のガイドライン (<http://www.osha.gov/>) をご確認ください。

お手入れとクリーニング

スピーカーに必要なお手入れは、折に触れて埃を払うことだけです。研磨剤や溶媒ベースのクリーナー、あるいは刺激の強い洗剤は絶対に使用しないでください。グリルのクリーニングには、掃除機のブラシアタッチメンを使用してください。

サブウーファーの配置

スピーカーシステムから最大限のサウンド品質を引き出すには、正しい配置が重要です。Monitor XT12サブウーファーは、2.1ch、3.1ch、5.1ch、7.1ch、9.1ch セットアップと互換性があります。サブウーファーを最適な場所に配置することで、低音再生のパフォーマンスに、より劇的な効果をもたらすことができます。

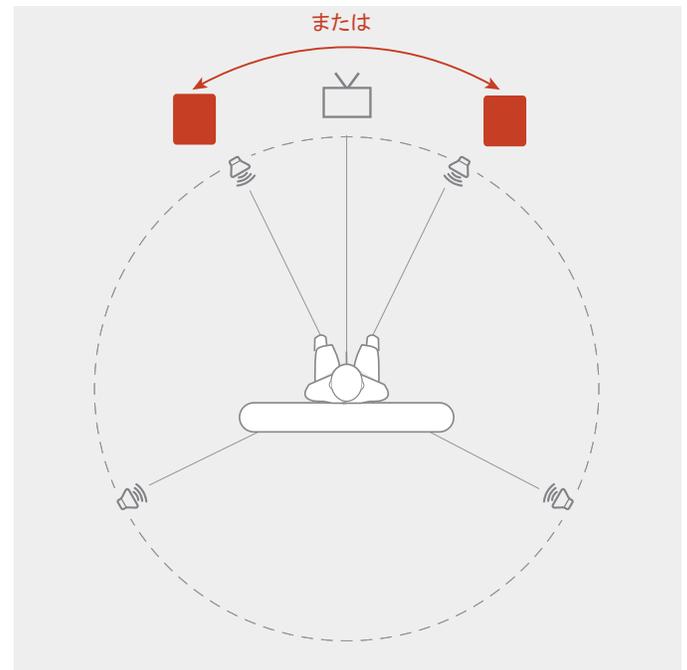
1台のサブウーファーでのリスニング

1台のサブウーファーのセットアップでは、サブウーファーを左右どちらかのフロントスピーカーの背後(壁側)に配置することをお勧めします。サブウーファーをリスニングエリアの中央に配置すると、最適なサウンドが得られず、低音出力の量が減少する可能性があります。歪を最小限に抑えて、最高のサウンドを得るには、サブウーファーを壁から約15センチ離して配置してください

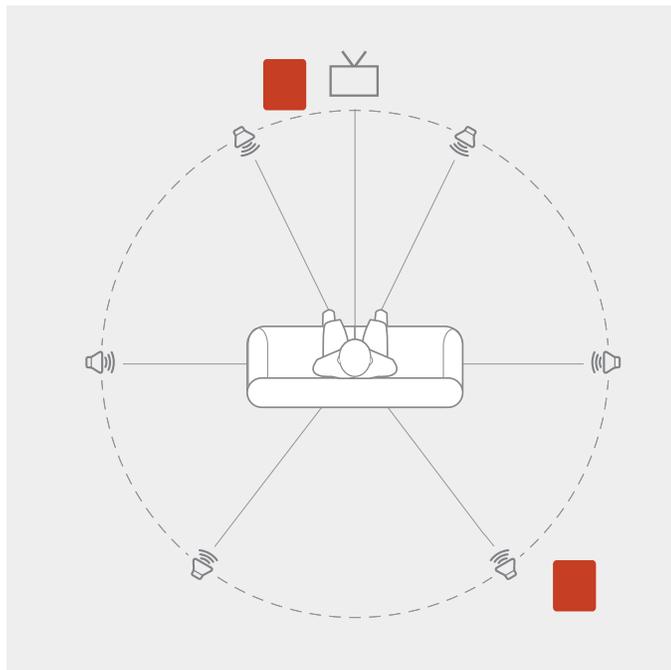
2台のサブウーファーでのリスニング

2台のサブウーファーを配置する場合は、1台目のサブウーファーを左右どちらかのフロントスピーカーの背後(壁側)に配置し、2台目のサブウーファーを1台目のサブウーファーの対角線上に配置します。各サブウーファーは壁から少なくとも約(15センチ)離してください。これにより、最高のリスニング体験が実現します。

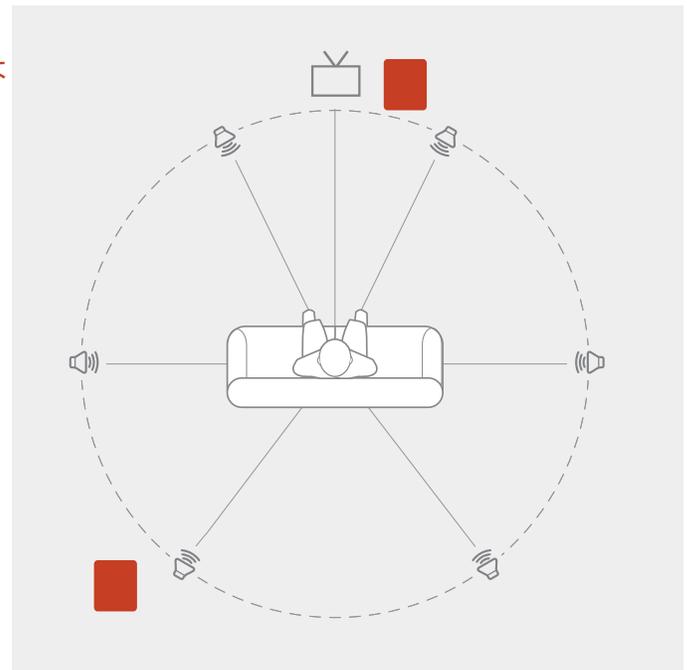
1台のサブウーファーのセットアップ



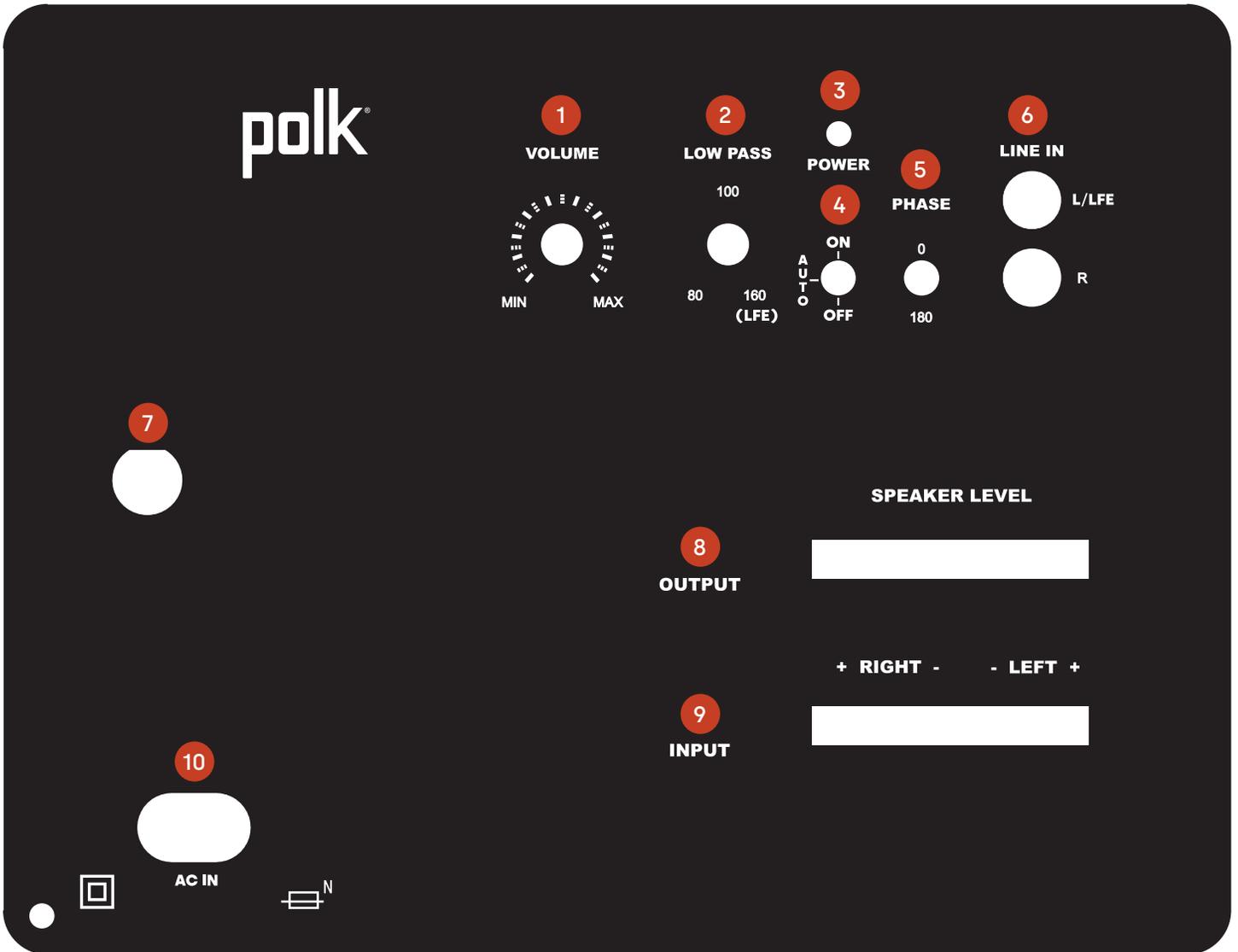
2台のサブウーファーのセットアップ



または



サブウーハーの背面パネル



1	音量調節
2	ローパスフィルター
3	LED電源表示ランプ
4	電源自動/オン&オフ
5	位相スイッチ
6	ライン入力 (LFE = 白色RCA)
7	ヒューズ (中国/ヨーロッパ: T 1AL 250V/日本: T 2AL 250V)
8	スピーカーレベル出力
9	スピーカーレベル入力
10	AC電源インレット

サブウーハーの接続方法

サブウーハーの入力端子には、ライン入力、スピーカーレベル入力、LFEの3種類があります。

1 ライン入力のセットアップ



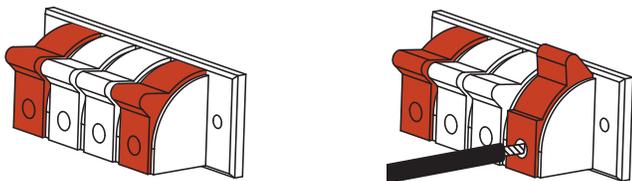
この方法は、2チャンネルシステムなど、LFE/サブウーハー出力ジャックのないシステムに推奨されます。

1. アンプ/レシーバーの電源を切り、サブウーハーをコンセントから外します。
2. アンプ/レシーバーのフロント左右のプリアウトジャックからRCAケーブルを接続します。
3. サブウーハーをコンセントに接続して電源を入れます。
4. 音量を12時の位置に設定します。
5. サブウーハーのローパスフィルターを適切な周波数に設定します。

2 スピーカーレベル入力のセットアップ

この方法は、LFE/サブウーハーまたはプリアウトジャックのないアンプ/レシーバーに推奨されます。

1. アンプ/レシーバーの電源を切り、サブウーハーをコンセントから外します。
2. アンプ/レシーバーのスピーカー出力端子からスピーカーケーブルを接続します。ほとんどのアンプ/レシーバーのスピーカー出力端子では、2本のケーブルを1つの端子台に接続することができます(1本はメインスピーカー用、もう1本はサブウーハー用)。



重要:各チャンネル入力の一方の端子は赤色帯(+)でマークされ、もう一方の端子は黒色帯(-)でマークされています。アンプ/レシーバーの赤色(+)端子からサブウーハーの赤色(+)端子にケーブルを接続し、アンプ/レシーバーの黒色(-)端子からサブウーハーの黒色(-)端子にケーブルを接続します。システム内のすべてのスピーカーを同じ方法(正しい極性)でアンプに接続することが最も重要です。低音が不十分な場合は、1つまたは複数のチャンネルが誤った極性に接続されている可能性があります。その場合は接続し直してください。細心の注意を払って、すべてのチャンネルでプラス同士、マイナス同士を接続します。

3. サブウーハーをコンセントに接続して電源を入れます。
4. 音量を12時の位置に設定します。

3 LFEのセットアップ

RCA-Y型アダプターを使用するかどうかに応じて、以下の該当するセクションの手順に従ってください。

RCA-Y型アダプターを使用する場合

1. アンプ/レシーバーの電源を切り、サブウーハーをコンセントから外します。
2. アンプ/レシーバーからのLFEケーブルをRCA-Y型アダプターで2系統に分岐させ、サブウーハーのRCAライン入力(白色/赤色)に接続します。
3. サブウーハーのローパスフィルターノブを160Hzにします。
4. 音量を12時の位置に設定します。
5. サブウーハーをコンセントに接続して電源を入れます。

RCA-Y型アダプターを使用しない場合(通常はこちらの方法を推奨します。)

1. アンプ/レシーバーの電源を切り、サブウーハーをコンセントから外します。
2. アンプ/レシーバーからのLFEケーブルを左チャンネルのRCAライン入力(白色)に接続します。
3. サブウーハーのローパスフィルターノブを160Hzにします。
4. 音量を12時の位置に設定します。
5. サブウーハーをコンセントに接続して電源を入れます。

Monitor XT12サブウーハーの仕様*

スピーカータイプ	サブウーハー
エンクロージャー形式	バスレフ型
オーバーオール周波数特性	24Hz~160Hz
連続出力(RMS)	50 W
ピークパワー	100 W
アンプタイプ	クラスA/B
位相調整	0°/180°
ローパスフィルター周波数	80Hz~160Hz/LFE
寸法および重量	
製品寸法(W x H x D)	406.4 x 417.5 x 455.8 mm
製品重量(1台)	17.7 kg
キャビネット	
外装	ブラック PICAビニール
フット	固定式(高さ調節不可)
着脱式グリル	付属
入力	
ライン入力	あり
LFE入力	シングルRCA
スピーカーレベル入力	L/R
コントロール	
主電源	自動オン/オフ
音量調節	ロータリーボリューム(センタークリックあり)
ローパス制御	ロータリーボリューム(センタークリックあり)

*本製品仕様は予告なく変更される場合があります

POLK. EXPECT GREAT SOUND.®

Sound United, LLC
5541 Fermi Court
Carlsbad, CA 92008 USA

www.polkaudio.com

EU Contact:
Sound United Europe
a Division of D&M Europe B.V.
Beemdstraat 11, 5653 MA Eindhoven
The Netherlands

UK Importer:
D&M Audiovisual Ltd.
Cells 1 & 2 Kopshop, 6 Old London Road
Kingston Upon Thames
KT2 6QF UK